

## 地方行政サービス改革の取組状況等(平成30年4月1日現在)

自治体コード	都道府県名	市区町村名	類似団体区分
122343	千葉県	南房総市	都市 I-1

### (1)民間委託

	直営(※)	今後の対応方針【直営(※)を選択した団体のみ回答】	【参考】 類似団体 委託率	本県(市区町村分) 委託率
本庁舎の清掃			100.0%	99.7%
本庁舎の夜間警備			100.0%	98.6%
案内・受付			84.2%	91.2%
電話交換			91.2%	94.2%
公用車運転			91.7%	88.1%
し尿収集			98.8%	97.9%
一般ごみ収集			97.3%	96.9%
学校給食(調理)			65.7%	68.3%
学校給食(運搬)			93.3%	91.2%
学校用務員事務	○	今後も継続予定	24.3%	35.1%
水道メーター検針			99.1%	99.1%
道路維持補修・清掃等			96.4%	96.9%
ホームヘルパー派遣			100.0%	98.8%
在宅配食サービス			100.0%	99.9%
情報処理・庁内情報システム維持			98.3%	99.5%
ホームページ作成・運営			96.6%	97.7%
調査・集計			95.1%	96.2%

※平成30年4月1日現在において、直営で専任職員を置いている団体

### (3)窓口業務

総合窓口の設置	設置状況	設置予定無し	→	予定時期	-
窓口業務の民間委託	委託状況	委託予定無し			

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)	
設置率	委託率	委託率
14.3%	13.4%	22.4%

### (4)庶務業務の集約化

実施状況	委託状況	→	対象部局	対象業務
実施予定無し	委託予定無し		首長部局 企業局 教育委員会 その他 給与 旅費 福利厚生 財務会計	

【参考】

類似団体	実施率	委託率
全国(市区町村分)	24.4%	0.0%
本県	27.2%	2.8%

【実施予定無し】及び【首長部局未設置団体】は「未実施の理由」と、「実施予定あり」の団体は「実施予定時期」を記述してください。  
【人口が5万人未満の団体は回答不要】

BPRの手法を用いた業務分析

取組状況	→	業務改革効果
------	---	--------

### (2)指定管理者制度等の導入

	公の施設数	制度導入施設数	導入率	前年度以降、導入が進んでいない理由	自治体職員常駐施設数	自治体職員を常駐で配置している事に対する考え方	【参考】 類似団体 委託率	本県(市区町村分) 委託率
体育館	11	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない	1	イベント等の企画・運営のため、専任職員を配置している。	31.8%	30.9%
競技場(野球場、テニスコート等)	12	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない	1	イベント等の企画・運営のため、専任職員を配置している。	42.9%	38.2%
プール	1	0	0.0%	上記施設に指定管理を行う施設がないため導入が期待できない	1	上記施設から譲渡を受けた施設のため自治体独自の指導員養成講習を併せた資格者を確保し配置することがある。	45.8%	63.9%
海水浴場	10	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない。	0		6.2%	0.0%
宿泊休業施設(ホテル、観光客舎等)	0	0			0		97.3%	66.7%
休業施設(公民館、遊園地等)	1	1	100.0%		0		72.3%	100.0%
キャンプ場等	1	1	100.0%		0		50.8%	44.4%
産業情報提供施設	7	5	71.4%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない。	0		78.9%	83.0%
展示場施設、見本市施設	0	0			0		82.4%	100.0%
開放型研究施設等	0	0			0		33.3%	33.3%
大規模公園	1	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない。	0		35.3%	36.4%
公営住宅	12	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない。	0		7.8%	3.2%
駐車場	0	0			0		25.7%	58.7%
大規模堂館、斎場等	0	0			0		24.2%	43.8%
図書館	1	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない。	1	自治体職員を常駐することで、住民からの要望など、きめ細かな部分まで行政サービスを提供できると考えられている。	13.9%	14.3%
博物館(歴史・文化・自然・産業等)	2	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない。	0		29.1%	11.5%
公民館、市民会館	9	0	0.0%	指定管理制度の導入によるメリットが期待できない。	3	市民会館を指定管理した場合は職員もおり、また生涯学習や地域活性化の拠点でもあり、市民からの要望も多いため、知識もつけ、人とのつながりを築くためのEコマースの場として、市で運営すべきである。	20.2%	19.6%
文化会館	0	0			0		29.2%	45.2%
合宿所、研修所等(青少年の要を主)	1	1	100.0%		0		47.5%	31.3%
特別養護老人ホーム	0	0			0		73.7%	80.0%
介護支援センター	0	0			0		62.3%	33.3%
福祉・保健センター	5	1	20.0%	協議中となっている。今後も検討していく。	0		48.6%	54.0%
児童クラブ、学童館等	6	0	0.0%	子育て支援センター1箇所については、直営で運営すべき施設と考えている。児童養育施設(児童福祉施設)については、民間委託も検討中。	6	子育て支援センターについては、様々な事業を実施しているため、職員を常駐させることが望ましいと考えられている。	11.5%	22.2%

### (5)自治体情報システムのクラウド化

実施済	○	→	類型	実施時期	自治体クラウドへの移行時期
			自治体クラウド 単独クラウド	平成23年度	平成33年度
実施予定		→	類型	実施予定時期	
			自治体クラウド 単独クラウド		
検討中		→	検討状況		
未実施		→	実施しない理由		

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
実施率	実施率
26.1%	37.0%

全国  
自治体クラウド 23.6%  
単独クラウド 38.3%

### (6)公共施設等総合管理計画

策定済	○	→	策定予定	→	策定予定時期
-----	---	---	------	---	--------

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
策定割合	策定割合
100.0%	99.6%

### (7)地方公会計の整備

統一的な基準による財務書類の作成状況(一般会計等財務書類)	作成済	○	→	作成予定	→	作成完了予定年度
-------------------------------	-----	---	---	------	---	----------

【参考】

類似団体	全国(市区町村分)
作成割合	作成割合
84.0%	82.8%

(注1)統一的な基準による地方公会計については、原則として平成27年度から平成29年度までの3年間で整備するように要請されているが、当該調査の基準日はその初年度の開始時点である。

(注2)「作成済」の※印は、平成29年度決算から取引の都度、伝票単位ごとに仕訳を行う方法(日々仕訳)により平成30年度中に財務書類の作成を行う団体